

まちづくり通信

あけまして おめでとうございます。

本年度、夏号から始まって3回目の発行となる『まちづくり通信』です。

年が明けた最初の冬号は、初日の出ではなくどこかの綺麗な浜辺の写真です。

(種子島の海だったらよかったのですが・・・)

種子島の海岸には何処から旅して流れ着いたのか、大量のゴミが日々漂着しています。

(プラスチック製の丸浮きやペットボトル、ガラス瓶やロープ網など人工物ばかり・・・。)

私共「一般社団法人まちづくり公社」は、国からの事業を請け負い、日々、海岸漂着物の清掃作業を行っています。



海岸清掃業務について

はじめに、種子島の海岸と聞いて皆さんはどのようなことを連想するでしょうか？

青い海と白い砂浜・自然の生き物が生息する豊かな海…。 等々、良いイメージが浮かびますよね！

しかし、残念なことに種子島の海岸は、回収しきれないほどの漂着物で、とても美しい海とは言えない状況にあるのです。

そのごみを、年間を通じて回収する業務を、まちづくり公社が行っています。



日々の海岸清掃作業の様子。 1年間を通じて漂着物を回収しています。

漂着物について

一言で漂着物と言っても、実際には、ほとんどが人工物で国外からの流れ着いたものが多いようです。プラスチック製品・金属製品・ガラス製品・ロープや網、時には、危険物等も漂着しています。



水筒とヘルメット

研究用の？



プラスチック製の浮き



ガスボンベ



空き缶・ガラス瓶

瓶の中身は？



漂着物の量について

過去三か年の海岸清掃で公社が回収したごみの量は、次のようになっています。

2020年度 約 **51** t

2021年度 約 **54** t

2022年度 約 **47** t

2023年度 約 **32** t (1月末現在)



※西之表市内の海岸で回収された量です！

2022年4月～2023年3月の回収量実績

浦田海岸～花里海岸

久保田海岸～小浜海岸

上石寺海岸～深川海岸

西之表市

綺麗にするぞ！



安納海岸～浅川海岸

今日も多いな！



中種子町

鉄浜海岸～野木海岸

海岸清掃の風景写真

回収前の風景



職員2名体制で、西之表市の海岸ごみを、1年間を通じて回収しています。

回収中の風景



プラスチック製の漂流物（丸浮・コンテナ等）が散乱しています。



雨の日も風の日も回収作業は行われています。

回収後の風景



集められた漂着ごみは分類別に仕分けして処分します。

回収したプラスチック類の漂流物は、可燃ごみとして処分されます。1日で多いときには200kgの漂着物を回収することもあります。



編集後記

「まちづくり通信」と題して、発行第3号となりました。

今年の冬は暖冬と予想されていますが、種子島の冬は風が強くととても寒いと感じます。天候が悪い日は、海も大荒れ、海岸には漂着ごみが押し寄せてきます。

今回も仕事の一部を紹介させていただく内容となりましたが、現場では、いつまで経っても無くならない漂着ごみを相手に、日々、市内の海岸を巡回しながら回収し続けています。

残念なことですが、ごみを自然界に捨てているのも拾い集めるのも私たち人間です。

いつの日か、種子島の海がゴミひとつない美しい海になるようお願いを込めて、まちづくり公社は、今日も業務に取り組んでまいります。

事務局 i

求人募集のお知らせ

施設管理部の一般作業員を募集いたしております。

主に市施設の環境美化・海岸清掃等、市役所が行う業務の一部を行っており、やりがいのある職場です。

詳細は、ハローワークまたは、当社まで、お問い合わせ下さい。

西之表市まちづくり公社

電話 0997-28-3754